

家庭の事情を周りが察したらもっと復帰仲間が増えるはず！

歯科衛生士歴21年目の堤内久枝さんは、2人の息子を育ててきたベテランのママさんDH。彼女が歯科衛生士を目指し、歯科衛生士学校に入学した当時は、1年制で助手のイメージも強かった時代だ。19歳で社会に出た彼女は、医院に就職した後も渡米して予防の勉強をしたり、勤務先を変えたりと、模索する時期が続いた。でも幸いなことに22歳で福井県の総合病院にある口腔外科で予防の経験を積むことができ、歯科衛生士としての充実した毎日を過ごす。担当する患者さんたちの歯肉が良くなっていくウレシイ記憶は、出産し、子育てをする間も忘れられなかったという。

次男達哉くんが小学校3年になったタイミングで、彼女は認知症などの特老の病院で外来診療の仕事 시작했다。歯科衛生士の仕事は約10年ぶり。でも出産前と違い、育児を経験したことで余裕を持って患者さんに接することができるようになったという。

しかし、いくら経験を積んでも彼女の心のどこには「井の中の蛙」という感覚がある。さまざまな勉強会に参加しても「自分はよそでは通用しないのではないかな？」という不安が頭をよぎるようになった。そんな時、雑誌に現役の歯科衛生士が主宰する「みんとセミナー」の広告を発見。迷わず参加した彼女は、会場で今まで知らなかった世界が広がっていくのを感じた。

昨年、たるみ歯科クリニックに主任として勤務してからは身に付けた知識を生かし、衛生士業務のほかにスタッフ育成や経営のサポートも行っている。彼女は周囲の支えによってもっと復帰仲間を増やし、悩める歯科衛生士を少しでも減らしたい、そして歯科衛生士が何歳になっても続けられる、より未来の明るい職業になることを願っている。

たるみ歯科クリニック（兵庫県宝塚市）

堤内久枝さん（ママ歴22年目）



1 たるみ歯科クリニックには歯科衛生士が多く在籍する。主任の堤内さんは院内で勉強会を開いてスタッフの教育に力を入れたり、予約状況の改善案を考えたりと、経営のサポートを行う。
・院内には来院した子供たちが遊べるスペースを設ける。



みんとセミナーでスキルアップに開眼！

大阪や名古屋など、主要都市で開催されているみんとセミナーは、堤内さんがスキルアップに精を出すきっかけとなった。会場では現役歯科衛生士が歯科衛生士の目線から、タイムリーな失敗例や素朴な半モンを次々と解決してくれる。今では堤内さんもみんとセミナーの講師として講習を手伝い、後輩たちを明るい未来に導く指導を行っている。

復帰できた幸せを噛みしめながらプロフェッショナルを目指します。



！後ろを向いているのが長男の啓太くん（21歳）で、左が次男の達哉くん（19歳）。堤内さんが歯科衛生士に復帰してからは、ご主人が家事を手伝ってくれるようになり、啓太くんが達哉くんの面倒を見てくれたので、家事の負担が減ってとても助かったぞ。

ひさえママの軌跡

- 19歳 1年制の専門学校を卒業
福井県の医院に就職
- 2年半勤務した後、
総合病院の
口腔外科に転職 22歳
- 結婚
歯科衛生士の
仕事は続ける 25歳
- 第1子出産
ご主人の転勤も
あって退職 29歳
転勤が多く
育児に専念
- 31歳 第2子出産 10年間
育児に専念
- 子育てが落ち着き、
歯科衛生士に復帰
最初は週1~2回の勤務 40歳
- 41歳 近所の歯科医院と
2軒を駆けつけ
- 正社員として
フルタイム勤務を
始める 42歳
- 45歳 「みんとの会」に参加して
スキルアップに精を出す
- 現在の
たるみ歯科
クリニックに転職 49歳
- 現在 主任として
医院を支える。



堤内久枝さん

兵庫県宝塚市のたるみ歯科クリニックで主任として勤務。最近では歯科衛生士業務以外にセミナー講師を務めるなど、院外のスタッフ育成にも力を入れている。

PHOTO/朝村智子